



# 第91期 中間事業報告書

2019年4月1日 ~ 2019年9月30日

# 株主の皆さまへ

株主の皆さまには  
日頃より格別のご高配を賜り、  
ありがたく厚く御礼申し上げます。  
さて、第91期第2四半期連結累計期間  
(2019年4月1日~2019年9月30日)  
における事業の概要について  
ご報告申し上げます。



代表取締役  
会長執行役員

北野 晶平



代表取締役  
社長執行役員

藤澤 一郎

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題で景気後退が懸念されましたが、企業収益は、内需の下支えにより高水準を維持し、設備投資も底堅く推移いたしました。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間における業績は次のとおりとなりました。

受注工事高879億2百万円、完成工事高789億17百万円、経常利益42億30百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益28億97百万円となりました。

中間配当につきましては、既に公表しておりますとおり、1株当たり40円00銭とさせていただきます。

当社は、4年後の創業120周年に向け、これからもお客様、株主・投資家の皆さま、協力会社、社員といったさまざまなステークホルダーの皆さまとの建設的な対話を通じ、その期待に応え続けることにより、継続的な企業価値向上に努めてまいります。

今後ともダイダンの企業活動に一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

## 連結財務ハイライト

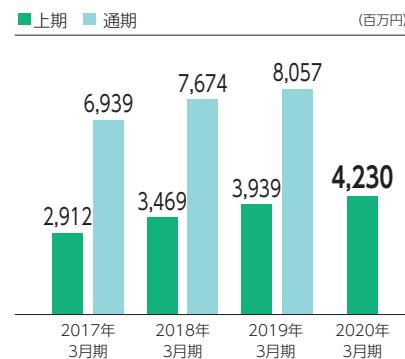
### 受注工事高



### 完成工事高



### 経常利益



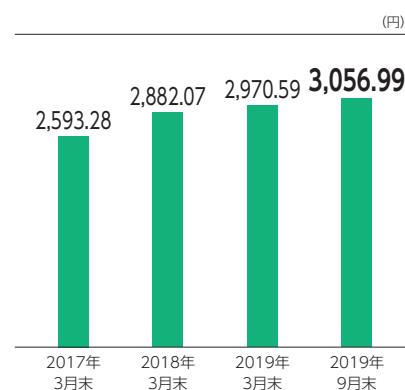
### 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



### 総資産・純資産・自己資本比率



### 1株当たり純資産額



(注)当社は、2017年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。2017年3月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり純資産額」を算定しております。

# 連結財務諸表

## 四半期連結貸借対照表

科 目	(単位：百万円)	
	前連結会計年度末 (2019年 3月31日現在)	当第2四半期連結会計期間末 (2019年 9月30日現在)
<b>【資産の部】</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	12,803	23,513
受取手形・完成工事未収入金	58,088	52,252
電子記録債権	14,814	9,581
未成工事支出金	509	758
その他	2,705	4,637
貸倒引当金	△ 8	△ 8
<b>流動資産合計</b>	<b>88,913</b>	<b>90,735</b>
<b>固定資産</b>		
有形固定資産	5,198	5,155
無形固定資産	457	384
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	16,129	15,660
退職給付に係る資産	8,675	8,699
その他	1,536	1,549
貸倒引当金	△ 183	△ 171
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>26,159</b>	<b>25,738</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>31,815</b>	<b>31,278</b>
<b>資産合計</b>	<b>120,728</b>	<b>122,014</b>

科 目	(単位：百万円)	
	前連結会計年度末 (2019年 3月31日現在)	当第2四半期連結会計期間末 (2019年 9月30日現在)
<b>【負債の部】</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形・工事未払金	20,763	21,459
電子記録債務	9,796	10,188
短期借入金	3,826	3,661
未払法人税等	1,149	1,007
未成工事受入金	1,574	1,030
賞与引当金	—	2,496
役員賞与引当金	—	50
株式給付引当金	—	17
完成工事補償引当金	85	79
工事損失引当金	138	61
その他	12,244	9,315
<b>流動負債合計</b>	<b>49,578</b>	<b>49,365</b>
<b>固定負債</b>		
長期借入金	1,543	1,727
繰延税金負債	1,903	2,289
退職給付に係る負債	1,299	1,286
海外投資損失引当金	5	7
長期未払金	6	6
その他	0	0
<b>固定負債合計</b>	<b>4,759</b>	<b>5,317</b>
<b>負債合計</b>	<b>54,338</b>	<b>54,682</b>
<b>【純資産の部】</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	4,479	4,479
資本剰余金	4,809	4,897
利益剰余金	51,412	53,240
自己株式	△ 690	△ 1,553
<b>株主資本合計</b>	<b>60,011</b>	<b>61,064</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	6,172	6,080
為替換算調整勘定	22	27
退職給付に係る調整累計額	10	△ 22
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>6,205</b>	<b>6,085</b>
<b>非支配株主持分</b>	<b>172</b>	<b>181</b>
<b>純資産合計</b>	<b>66,390</b>	<b>67,331</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>120,728</b>	<b>122,014</b>

### POINT 四半期連結貸借対照表

流動資産は、前連結会計年度末比1,821百万円増(2.0%)の90,735百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加10,709百万円(83.6%)によるものです。固定資産は、前連結会計年度末比536百万円減(△1.7%)の31,278百万円となりました。主な要因は、投資有価証券の減少469百万円(△2.9%)によるものです。

流動負債は、前連結会計年度末比213百万円減(△0.4%)の49,365百万円と

なりました。主な要因は、未成工事受入金の減少544百万円(△34.6%)によるものです。固定負債は前連結会計年度末比557百万円増(11.7%)の5,317百万円となりました。主な要因は、繰延税金負債の増加385百万円(20.3%)によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末比941百万円増(1.4%)の67,331百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加1,827百万円(3.6%)によるものです。

## 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期連結累計期間 (2018年4月1日から 2018年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)
完成工事高	69,677	78,917
完成工事原価	60,536	69,046
完成工事総利益	9,140	9,870
販売費及び一般管理費	5,491	5,779
営業利益	3,649	4,091
営業外収益		
受取利息	5	5
受取配当金	195	196
受取保険料	107	90
為替差益	31	—
その他	27	18
営業外収益合計	367	310
営業外費用		
支払利息	61	62
支払保証料	3	2
為替差損	—	87
その他	11	19
営業外費用合計	77	171
経常利益	3,939	4,230
特別利益		
投資有価証券売却益	—	108
関係会社清算益	—	70
特別利益合計	—	179
特別損失		
固定資産除却損	—	73
投資有価証券売却損	—	51
投資有価証券評価損	—	55
特別損失合計	—	180
税金等調整前四半期純利益	3,939	4,229
法人税、住民税及び事業税	856	886
法人税等調整額	448	440
法人税等合計	1,305	1,327
四半期純利益	2,634	2,902
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△ 11	4
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,645	2,897

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期連結累計期間 (2018年4月1日から 2018年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,569	12,840
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 38	△ 286
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 660	△ 1,826
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 3	△ 18
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	1,866	10,709
現金及び現金同等物の 期首残高	27,858	12,776
現金及び現金同等物の 四半期末残高	29,724	23,485

## POINT 四半期連結損益計算書

完成工事高は、前年同四半期連結累計期間比9,240百万円増(13.3%)の78,917百万円となりました。

完成工事総利益は、前年同四半期連結累計期間比730百万円増(8.0%)の9,870百万円となりました。

営業利益は、完成工事総利益の増加により、前年同四半期連結累計期間比442百万円増(12.1%)の4,091百万円となりました。

経常利益は、前年同四半期連結累計期間に生じた為替差益31百万円が、当第2四半期連結累計期間においては為替差損87百万円に転じたものの、営業利益の増加により、前年同四半期連結累計期間比291百万円増(7.4%)の4,230百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益として投資有価証券売却益108百万円等、特別損失として固定資産除却損73百万円等を計上し、法人税、住民税及び事業税、法人税等調整額及び非支配株主に帰属する四半期純利益を控除した結果、前年同四半期連結累計期間比252百万円増(9.5%)の2,897百万円となりました。

## POINT 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は12,840百万円(前年同四半期連結累計期間比2,569百万円の資金の増加)となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益の計上及び売上債権の減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は286百万円(前年同四半期連結累計期間比38百万円の資金の減少)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は1,826百万円(前年同四半期連結累計期間比660百万円の資金の減少)となりました。主な要因は、自己株式の取得による支出及び配当金の支払額によるものです。

### 発行株式数及び株主数

- 発行可能株式総数 40,000,000株
- 発行済株式の総数 22,981,901株
- 株主数 3,425名

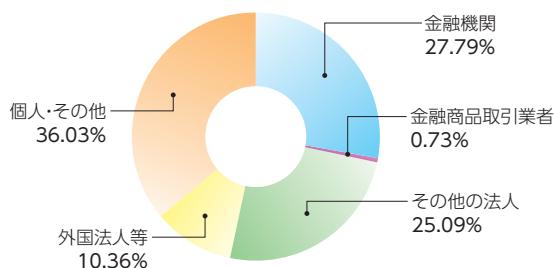
### 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
東京大元持株会	1,057	4.78
株式会社三菱UFJ銀行	973	4.40
大阪大元持株会	743	3.36
有楽橋ビル株式会社	738	3.33
ダイダグン従業員持株会	717	3.24
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	612	2.77
三信株式会社	559	2.52
名古屋大元持株会	546	2.47
株式会社みずほ銀行 (常任代理人 資産管理サービス信託銀行株式会社)	479	2.16
株式会社三井住友銀行	477	2.15

(注) 1. 当社は、自己株式866,063株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

2. 持株比率は、自己株式866,063株を控除して計算しております。

### 所有者別分布



### 会社概要

社名	ダイダグン株式会社
英文社名	DAI-DAN CO., LTD.
創業	1903年3月4日
設立	1933年10月10日
所在地	<本店・大阪本社>大阪市西区江戸堀1丁目9番25号 <東京本社>東京都千代田区富士土2丁目15番10号
資本金	4,479,725,988円
事業内容	電気工事、空調工事、水道衛生工事の設計、 監理、施工ならびにこれらに関連する事業
従業員数	1,628名

### 役員一覧 (2019年12月1日現在)

代表取締役	会長	執行役員	北野晶	平部隆英
代表取締役	社長	執行役員	藤澤一	二春史
代表取締役	副社長	執行役員	田新亮	充美志
取締役	専務	執行役員	古池力	外 治也
取締役	専務	執行役員	田石保	己功
取締役	専務	執行役員	池力	満也
取締役	専務	執行役員	井田	也
取締役	専務	執行役員	吉松	宏男
取締役	専務	執行役員	河野	章典
取締役	専務	執行役員	滝野	二
取締役	専務	執行役員	大西	工
取締役	専務	執行役員	佐藤	博
取締役	専務	執行役員	北道	暢
取締役	専務	執行役員	吉立	泰
取締役	専務	執行役員	立石	和
取締役	専務	執行役員	清水	美
取締役	専務	執行役員	高坪	明
取締役	専務	執行役員	比良	昇
取締役	専務	執行役員	山菅	仁
取締役	専務	執行役員	中木	博
取締役	専務	執行役員	好橋	明
取締役	専務	執行役員	三田	昇
取締役	専務	執行役員	大田	博
取締役	専務	執行役員	佐々木	博
取締役	専務	執行役員	山岸	博
取締役	専務	執行役員	平田	博
取締役	専務	執行役員	坂本	博
取締役	専務	執行役員	田原	博
取締役	専務	執行役員	之禮	博
取締役	専務	執行役員	畑中	博
取締役	専務	執行役員	島本	博
取締役	専務	執行役員	岡村	博
取締役	専務	執行役員	清水	博
取締役	専務	執行役員	麻生	博
取締役	専務	執行役員	森田	博
取締役	専務	執行役員	大野	博

(注) 1. 取締役のうち吉田宏、松原文雄、河野浩二氏は、社外取締役であります。  
2. 監査役のうち滝谷政春、佐藤郁美氏は、社外監査役であります。

## ダイダンの事業活動

光と空気と水。そのすべてをトータルにコントロールする統合技術。  
優れた技術が響きあい、ひとつに溶けあうことで、より快適な、新しい環境が生まれます。

光  
Light

ステージを映し出すきらびやかな照明。建物を夜の街に美しく映し出すライト。  
光によって映し出される世界は、人々の感動をもたらします。  
こうした感動の創造もダイダンの仕事です。

電気設備工事

電力設備

防災設備

情報通信設備

特殊電気設備

空気  
Air

その建物に適した空気を供給し、かつ、その建物に集う人々の快適を追及すること。  
そして、地球にやさしい空調技術で、空気を授けてくれる自然に感謝する……  
それがダイダンの空調技術です。

空調設備工事

環境空調設備

医療施設向け空調設備

産業施設向け空調設備

特殊施設向け空調設備

水  
Water

人々の生活と水は切り離すことのできない関係。  
ダイダンは常に高質な生活用水を供給するとともに、高度な水処理設備によって、環境にも配慮。  
人と水の間関係をさらに快適なものにします。

給排水衛生設備工事

給排水設備

消火設備

ユーティリティ設備

特殊施設向け衛生設備

## ホームページのご案内

当社のホームページでは、IR情報をはじめとして当社の各種情報を公開しておりますのでご覧ください。



<https://www.daidan.co.jp/>

## 「ダイダンレポート2019」を発行



当社の事業活動やCSR活動に加え、財務・非財務データを盛り込んだ統合的な企業レポート「ダイダンレポート」は、下記のホームページリンクよりダウンロードが可能です。

ダイダンレポート2019

<https://www.daidan.co.jp/csr/report.html>

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
1単元の株式の数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 ☎ 0120-094-777 (通話料無料)
公告方法	電子公告により行います。 当社ホームページに掲載いたします。 ( <a href="https://www.daidan.co.jp/finance/koukoku/">https://www.daidan.co.jp/finance/koukoku/</a> )
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部

UD  
FONT



**ダイダン株式会社**

〒550-8520  
大阪市西区江戸堀1丁目9番25号  
電話 (06) 6447-8000